



最新ニュース

# 入学式

平成27年4月7日(火)

新入生321名を迎え、入学式を挙行了しました。横島義昭校長からお祝いと激励の言葉とともに、自主・協同・責任の校訓を大切にすること、高い志を持つことなど式辞がありました。同窓会長・幡谷浩史様、PTA会長・比氣洋明様からも祝辞をいただきました。

「はやぶさ」の父・川口淳一郎氏の言葉を引用した上で、「高い志がなければ新たな未来は見てこない」と述べました。

幡谷様の祝辞は朝食をしっかりと採り丈夫な体を作ること、親友を作ること、海外研修などに積極的に参加することなどでした。



比氣様からは、高校生活を楽しむとともに何事にも好奇心を持ってリーダーシップのとれる人になろうと祝辞をいただきました。

入学生代表宣誓 吉川和志くん  
「自らの可能性を信じ、仲間と共に切磋琢磨し、何事にも全力で取り組みます」



↑ 須田教諭による呼名



↓ 緊張した面持ちの新入生

↓ 学年教員紹介



吹奏楽部、  
弦楽部、合  
唱部による  
校歌披露→



## 平成27年度 全日課程 入学式

### 式辞

春爛漫、本校のシンボル・旧本館を彩る桜が満開の今日の佳き日、進修同窓会会長 幡谷浩史様、PTA会長 比氣洋明様はじめ多数のご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに平成27年度・茨城県立土浦第一高等学校全日課程・入学式を挙げることは、私ども教職員一同、大きな喜びでございます。心より厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました321名の新入生の皆さん。入学、おめでとう。

また、保護者の皆様におかれましては、立派に成長した我が子の晴れ姿をご覧になって、さぞや頼もしく感じておられることと存じます。心からお慶び申し上げます。

さて、高校生としての第一歩を踏み出す日に当たり、本校教職員を代表いたしまして、新入生の皆さんに、お祝いと激励の言葉を申し上げたいと思います。

皆さんは、本校を志望校に選び、難関の入試を突破し、本日、晴れて本校の生徒となりました。皆さんのこれまでの努力に敬意を表しますとともに、教職員・在校生一同、皆さんのご入学を心から祝福し、歓迎いたします。

本日の感激は、皆さんの努力とともに、皆さんを今日まで育て励ましてくださった保護者や中学校の先生など多くの方々のお陰でもあります。これらのご恩に対して「感謝」の気持ちを決して忘れないでいただきたいと思います。

さて、本校は、明治30年に創立し、今年で118年目を迎える県内有数の伝統校です。皆さんは、高等学校として70回目、創立からでは119回目の入学生となります。これまでに、ここに学び、ここより巣立った卒業生は、3万人を超えています。先輩たちは、政治、経済、研究、芸術、そしてスポーツなど、国内外の多方面において幅広く活躍されており、本校の誇りとするところであります。皆さんには、こうした先輩の後に続き、本校の伝統を継承しつつ、ますます良い校風を築きながら、新たな歴史を残してほしいと思います。

現在、本校は全国屈指の進学校として全国に名を轟かせています。勉強はもちろんのこと、部活動や生徒会活動も盛んであり、生徒は、高い志をもって、明るく伸びやかな高校生活を送っています。また、本校の教師は、全国有数の教科指導力・授業力を持ち、プライドをもって進学指導あるいは部活動などに当たっています。私は、土浦一高は素晴らしい学校だと思っています。この学校で、新入生の皆さんにも高い志をもって、明るく伸びやかな高校生活を送っていただきたいと思います。

そこで、高校生活のスタートに当たり、私から皆さんに、お願いしておきたいことが二つあります。

まず一つ目は、本校の校訓の教えを持ち続けていただきたいということです。

皆さんから見て体育館前面の右側の壁に掲げてある「校訓」をご覧ください。校訓は、「自主」「協同」「責任」です。70年近く、大切に受け継がれてきました。これは、今も私たちに生き方を示し続けている意味深い言葉です。

「自主」とは、他人に惑わされず、自分で考え、自分で判断し、主体的に行動して、自己実現を図りなさいということです。本校では、様々な場面において、生徒の自主性、主体性を尊重しています。

「協同」とは、誰とでも心を合わせ、切磋琢磨しながら、何事にも助け合って立ち向かいなさいということです。一人では事は成し得ません。人との繋がりを大切にいなさいということです。

そして、「責任」とは、自ら決めたことは、自ら責任を負い、やり通しなさいということです。

皆さんには、この「自主」「協同」「責任」の教えをずっと持ち続け、社会の役に立つ人間になってもらいたいと思います。

次に、二つ目は、高い志をもち、努力し続けていただきたいということです。

以前、小惑星探査機「はやぶさ」のプロジェクトマネージャーであった川口淳一郎先生の講演を拝聴したことがあります。その中で、特に印象に残ったのが、「高い塔を建てなければ、新しい水平線は見えてこない。」という言葉でした。同じ目線のまま、ただ地面に立っているだけでは、まだ見ぬ風景、未来は見えて来ないということです。高い志がなければ、大きな未来は、開けてこないのです。

本校は「ノブレス・オブリージュ」の精神を掲げて教育に当たっています。この言葉は、「高き位に、重き務めあり」という意味です。難関を突破し本校の門をくぐってきた皆さんには、恵まれた能力、それを開花させる大きな可能性があります。より良い社会、より良い未来を築くために、皆さんが豊かな人間性を備えたリーダーとなって、率先して社会の役に立つ活躍をすることが望まれます。皆さんには、常に高い志を持って、努力し続ける責任があるという自覚を、持ち続けていただきたいと思います。

以上、お願いした、校訓と高い志、この二つを胸に刻んでいただきながら、今後、できるだけ早く本校の学習に適した効果的な学習法や学習習慣を身に付けるとともに、同じ時間を共有し、理解し合い、助け合い、高め合う仲間を作り、かけがえのない仲間、生涯の友を見つけていただきたいと思います。

結びになりますが、保護者の皆様にお願いを申し上げます。本日お預かりいたしましたお子さまの教育には、教職員一同、全力を尽くして当たってまいります。どうか、保護者の皆様におかれましても、学校への力強いご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

新入生の皆さん。皆さんが、今日の喜びを忘れず、心身健康で有意義な高校生活を送ることを、心から期待して、入学式の式辞といたします。

平成27年4月7日

茨城県立土浦第一高等学校長 横島義昭